

令和3年度 ヴェールルージュ美容専門学校 学校関係者評価（令和4年9月16日実施）

1. 教育理念・目的・育成人材像

	点検・評価項目	自己評価	自己評価結果	学校関係者評価委員からのご意見
①	教育目的、育成人材像は、学科等に対応する業界ニーズに向けて方向づけられているか	4	建学の理念である「即戦力育成」のため、常に時代や業界のニーズに呼応したカリキュラムを企業と協同し改編している。美容業界のトレンドを見通し、適宜新たな授業を取り入れることで最先端の技術習得を目指している。	・概ね問題ない印象。
②	学校における職業教育の特色は何か	4	現役プロ講師による時代や職業現場に即した実践的なカリキュラムや授業のほか、実践力や人間力を育むための体験型実習や行事を数多く取り入れていること。	
③	理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	4	教育理念や方針は、学生便覧に明記。表記の語句の解釈の難しさもあるので生徒には入学後に直接説明し指導。保護者には入学前に書面にてご案内し、周知徹底している。	

2. 学校運営

①	目標に沿った事業計画が策定されているか	4	期末の運営会議において計画の見直しを実施し、次期計画策定に向け改善策を検討している。	・概ね問題ない印象。ICTの導入と整備は、今後重要な項目だと考える。
②	運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4	組織体制に基づき、学校体制が明確にされており、意思決定においても速やかに行われている。今後もより迅速な意思決定による学校運営を継続させる。	
③	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3	数年前から推進をしているIT化により、業務の効率化が図られている。ホームページに卒業生及び在校生専用ページを設け、情報発信・周知に活用している。	

3. 教育活動

①	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	厚生労働省指定規則に則って編成しており、規則通り確実に遂行できている。	
②	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが行われているか	4	当校の教育方針である「実践教育の実施」を基に、美容師養成施設標準カリキュラムに則り編成をおこなっている。後援会サロンにご協力頂き、フォトセッションの実施等、新しい取り組みも取り入れている。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年度以降は校外活動を自粛しているが、今後は再開をしていく予定である。	<ul style="list-style-type: none"> ・「コロナ等の外部環境の変化時にどのような対策を取るか」が今後の課題と考える。 ・国家試験対象科目を担当できる教員が増えていることが評価できる。(筆記試験合格率100%) ・アイラッシュが国家試験の課題になることを見据えて強化を図ってほしい。
③	関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3	教育課程編成委員会を年2回、学校関係者評価を年1回実施し、意見や提案を参考にカリキュラムを検討・編成している。令和2年度以降、新型コロナウイルスの影響により一部開催を中止・延期となっていたが、時機をみて実施をしている。	
④	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4	基準は明確であり、学則に記載されている。	
⑤	資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	国家資格である美容師免許取得を目的としたカリキュラム編成となっている。試験対策講座や合宿・延長授業等を実施し、資格取得に万全の体制を整えている。美容師免許以外の資格取得も可能であり、一部説明会や対策授業を実施している。また、毎週木曜日の放課後に実施している部活動も可能な範囲で実施し、技術力向上に努めた。	
⑥	人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3	厚生労働省指定の専任教員資格要件を備えた教員を必要数確保している。教員には外部団体主催の研修参加機会を付与し知識・技術向上に努めている。昨年度、アイラッシュ指導者の資格を教員1名が新たに取得した。	

4. 教育成果

①	退学率の低減が図られているか	2	令和2年度は退学率が低減したが、昨年度は増加している。特に国家資格取得を必須としない分野に興味のある学生が辞める傾向にある。授業とは別にネイルやメイクに特化した時間を設ける等の対策を講じることを検討する。また、長期休暇明けに辞める学生が増えるため、休暇中及び休暇明けは特に学生対応に注意を払うようにする。その他、引き続き出席状況や受講態度などに問題があった場合、各教員から学科長へ報告の上、必要に応じて個別面談を行い速やかに対処する。長期欠席等の問題のある学生は、保護者や臨床心理士とも連携しながら指導に当たり学業への復帰を促している。	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍のためオンラインで（就職）ガイダンスを実施していることに対し、状況に応じた対応で評価できる。
②	就職率の向上が図られているか	4	担任教員、キャリアセンター、学校後援会が連携して、各種ガイダンスや研修、親睦会などを独自に開催し就職活動を全面バックアップしている。令和2年度は、新型コロナウイルスの影響により全て中止していたが、昨年度はガイダンスのみオンラインで実施ができた。就職率の向上を目指し月別内定目標を設定し、月ごとの結果を取りまとめ、教職員内で共有化している。	<ul style="list-style-type: none"> ・国家試験の対策を2年生からではなく、1年生から（2年間通して）対応していることが評価できる。
③	資格取得率の向上が図られているか	3	美容師国家試験合格率 100%を目標として、学生一人ひとりへの個別指導や対策講座・合宿の実施を引き続き実施。昨年度より国家試験対策室を立ち上げ、国家試験（筆記）は合格率 100%を達成することができた。一定レベルに到達していない学生を対象に延長授業も取り入れている。また国家試験課題技術強化のため、週に1回、補習時間を設けている。 対策国家試験以外の取得についても、対策授業を実施し、合格率の向上に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> ・国家試験以外の資格取得率について課題あり。

5. 学生支援

①	社会人ニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	大学・短大の既卒者に向けた学費支援制度を設けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・概ね問題ない印象。
②	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	担任教員、キャリアセンター、後援会が連携して、各種ガイダンスや研修、親睦会などを独自に開催しながら就職活動を全面的にバックアップしている。卒業生等からの情報を有効活用し、内定率向上に注力。またミスマッチを防ぐため個人面談を丁寧に行い、個性や希望条件に合った就職先のアドバイスをしているが昨年度は辞退者が多かったことが反省点である。美容部員及びブライダル企業向け合格対策授業も実施し	

			た。	
③	学生相談に関する体制は整備されているか	4	担任が窓口となり学生相談に対応することが多いが、場合に応じて、副担任や学年主任等も対応をしている。その他、校内にカウンセリングルームを設置し、カウンセラー2名体制で定期的に学生相談に対応している。また、身体に関する悩みや緊急を要する怪我などについては、学校長（医師）が対応している。	
④	学生の経済的側面に対する支援制度は整備されているか	4	日本学生支援機構、日本政策金融公庫などの公的制度の他、学校独自の奨学制度を設けている。（奨学金を活用した学費の分割払い制度や特待生制度等） 学内の学費相談デスクに学費アドバイザーを常駐し、学費・奨学金に関する相談体制を整えている。令和2年度に実施をした学校後援会の支援（新型コロナウイルスの影響により家計が急変した学生への経済支援策）を昨年度も実施。また修学支援新制度の対象校となっている。	

6. 教育環境

①	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備している。メンテナンス体制も整備しており、一部老朽化が進んでいる箇所については、随時補修している。令和3年度は外壁修繕工事と設置10年以上経過をしているトイレ全てを入れ替えた。	<ul style="list-style-type: none"> ・社会情勢の影響もあり、計画が延びることも多い印象。 ・BCP対策も含めて対応してほしい。
②	学校外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	-	学外実習については、毎年11～12月に希望者に対し海外研修を実施し、世界レベルのトップアーティストから学べるニューヨーク、ロンドン等での学校独自企画のプログラムを用意している。ニューヨーク研修は内容の見直しをして、世界レベルのカメラマンとのコラボレーションが実現したが、令和2年度以降、新型コロナウイルスの影響により中止している。	
③	防災に対する整備はされているか	3	防火管理規程、校舎管理規程を定めて体制を示し、防火訓練等を実施している。災害時対応マニュアルを作成して教職員及び非常勤講師へ周知している。	

7. 学生募集と受け入れ

①	学生募集活動は適正に行われているか	4	教育機関として節度ある学生募集活動を行っている。特に A0 入試は保護者または高校教員の承諾を必要とし、安易な合格内定による囲い込みは一切行っていない。また、高校側のスケジュールに合わせ必要書類を依頼し安心を得ている。オープンキャンパスでは対応職員を増やし、志望者の要望に合わせて個別対応を行い、正確な進路の指針を示すよう努めている。遠方にお住まいの方を対象に現地入試を継続実施。また、令和3年度より自宅から参加できる「WEB 個別相談会」を実施し、コロナ禍で来校することに不安がある方や遠方の方に多く参加していただいた。	・物価上昇に伴う教材費の値上げについて、授業に影響のない範囲で教材内容を見直すことで据置とすることは評価できる。
②	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	国家試験合格率や求人倍率・就職内定率等のデータについては、最新の数字を学校案内パンフレットやホームページ等に公表している。卒業生の現場での就業状況等についても、事実を正確に伝えている。	
③	学納金は妥当なものとなっているか	4	おおむね妥当な金額となっている。入学後に必要な教材費等の追加費用についても正確な金額を明示している。	

8. 財務

①	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	おおむね妥当と判断している。	・定員充足率 100%が続いており、財務基盤の安定に繋がっていると思う。
②	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	入学生定員確保に至り、財務基盤は安定する見込み	
③	財務について会計監査が適正に行われているか	4	適正に実施している。	

9. 法令等の遵守

①	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営が行われているか	4	法令、設置基準等に関してはそれらを遵守したうえで、適正な運営がなされている。	・適正に運営されている。
②	個人情報に関し、その保護のための対策がとら	4	資料請求者、受験者、学生や卒業生および教職員等、学校が保有する個人情報に関	

	れているか		し、管理システムのパスワードは定期的に変更している。また個人情報保護委員会を設置し、保護のための対策がとられている。	
③	自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	3	教職員会議、学年会議、営業会議等を通じて常に自己点検を行い、問題・課題を早期に発見し、随時協議を行い対処している。平成25年からは、学校関係者委員会を平成26年度から教育課程編成委員会を設置し外部関係者の意見も積極的に反映するよう努めている。	

10. 社会貢献

①	学校の教育資源を活用した社会貢献を行っているか	-	開校当初より社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。チャリティや業界団体をはじめ、海外美容学校の研修受入れなど分野枠を超えた活動を実施している。チャリティ参加及び韓国美容学生の研修受入れは定例化しており、令和元年度も実施。しかし令和2年度以降、新型コロナウイルスの影響により中止となっている。	
②	生徒のボランティア活動を奨励・支援しているか	-	生徒の社会貢献に対する意識向上のため、高齢者への美容サービス、児童養護施設のイベント協賛など授業や学校行事にも取り入れている。生徒が自ら行う活動についても日常的に奨励・支援している。また学校周辺地区の活性化として、地域商店街の通行客に向けたイベントにてメイクサービス等を実施し、こちらも定例化していたが、新型コロナウイルスの影響により中止している。	

11. 国際交流

①	留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	4	教職員が生活・コミュニケーションや在留手続きの管理までサポートしている。また、日本人学生数名が個別に勉強や生活をサポートする体制を整備している。令和3年度は留学生1名が在籍していた。	・特に問題なし。
②	受入れ・派遣、在席管理等において適切な手続き等が取られているか	4	取次申請者が留学生の状況を個別に確認し、必要に応じ手続きを代行している。	
③	グローバル人材の育成に向けた国際交流などの取り組みを行っているか	-	開校よりグローバル人材の育成を行ってきた結果として現在複数の卒業生がロンドン、ニューヨークなど世界の主要都市で美容師やヘアメイクアーティストとして活躍している。海外研修の際にイギリスで活躍中の卒業生と、将来海外で活躍することを目標としている学生へ情報提供を行っている。	